

# 社会現象化した「AKB48」の戦略とその分析

谷 祐帆

(福永 勝也ゼミ)

## はじめに

中学生の時にAKB48に興味を持ち、その後国内でSKE48(名古屋 栄)、NMB48(大阪 難波)、HKT48(福岡 博多)、NGT48(新潟)、そして海外ではJKT48(ジャカルタ)、SNH48(上海)など大成功をおさめているのを見て、48グループの魅力の秘密を分析してみたいと思った。このように人気を獲得し、発展していった経緯と理由に焦点を当てて調べてみることにした。すると、これまでのアイドル戦略と異なる要素が浮き出る形となった。それは、握手会などファンと直接ふれあえて密な関係が築けること、さらにファン投票でアイドルに順位をつけて競わせるなど、これまでの常識を打ち破った戦略が大きく奇付していることが判明した。

AKB48は2006年に東京・秋葉原を拠点に作られたアイドルグループで、総合プロデューサーはおニャン子クラブ等を流行らせた秋元康氏。現在は、「A」「K」「B」「4」「8」の5つのチームと研究生がいて、ほとんど毎日、東京・秋葉原にある専用劇場で、約2時間半にわたる公演を行っている。

「秋葉原で新しいアイドルを劇場から作ろう」というコンセプトのもと、同年7月に第1期メンバーの募集が始まり、翌年8月には秋葉原ドンキホーテ8階にAKB48劇場を作ることが決定した。そして、10月に実施された第1回オーディションには7924人が応募し、最終審査に45人が選出され、最終オーディションで24人が合格した。AKB48劇場が12月にオープンしたが、第1回の劇場公演は観客がわずか7人だったという。

翌06年2月にはインディーズ・デビューシングル「桜の花びらたち」が発売され、オリコンチャートに初登場して、第10位に輝き、女性アーティストとしては8年ぶりの快挙となる。

AKB48のもうひとつのコンセプトは「会いに行けるアイドル」であり、その名の通りAKB専用劇場で毎日公演を行っている。メンバーの多くはオーディションで合格してから短期間で歌やダンスをマスターするという短期間養成が特徴である。また2011年に起こった東日本大震災の被災者に向けて被災地訪問を月に1回行い、寄付金を集めたり、ミニライブを行ったりしている。またAKB48は恋愛禁止なのでルールを破ったことが発覚するとすぐ解雇、無期限休養という厳しい措置を受けることもある。

## 第1章 成功のきっかけと活性化の戦術

### (1) 人材収集

AKB48はデフレ不況下で誕生したアイドルグループである。現在の劇場公演のチケットは大人男性3100円、女性2100円であるが、結成当時は1000円であった。写真集も、一般的には3000円台のところを1000円台で販売していた。その後、低価格化競争を撤廃し、同時に価格差別もつけ、お金に余裕がある人には同じCDを何枚も買ってもらえるよう投票券や握手券などの特典も導入した。

また、低価格化競争+多売戦略によって、お金がある人となない人両方を楽しませる戦略もとった。「握手会」の物販ではTシャツなどのグッズを買い、ファン間の情報交換によって3作戦も展開して購買欲が刺激を受けた。また、インターネットとの連動により、アイドルの日常を知る仕組みが完成し、ファンはメンバー達と生活を共にしている気分になった。また、AKB48もイベント出演料の方が割高だから、自然と劇場公演が減ってメディア露出を優先する傾向にある。低価格化戦略と多売戦略を兼ね合わせて、劇場だけではなく、握手会やコンサートでの収入でも賄っていかなく

## 社会現象化した「AKB48」の戦略とその分析

ればならない。また、テレビやラジオの広告料収入に頼る旧型のモデルも併用するという今までになかった戦略も採用している。

AKB48の成功のきっかけは2010年の第2回選抜総選挙である。

AKB48の10年間の経済効果は、13年のアイドル市場の経済効果を計算すると、年間約2100億円のうちAKBの取給はCDやライブ会場での物販、入場収入、交通費などを含めて約1755億円だった。CM出演料や直接営業、雑誌・書籍や写真集も含めると1800～2000億円である。ジャニーズが約300億円だから、AKB48はケタ違いである。

今後のAKB48の展望は、名古屋、大阪、博多といった主要都市に加えて、NGT48（新潟）を作った点にある。これは人口100万人以下の都市に専用劇場を作った最初の例である。成功すれば、地方の文化的試みや観光事業になって夢が広がる。NGT48の成否こそが、今後の48グループのカギになっていくだろう。成功すればCDの売上は気にしなくてもよく、県や地方の民間企業とタイアップしてテーマパーク化すれば良いのである。つまり、地元でどれだけ愛されるかが重要なのである。今後は、各姉妹グループにライバル意識を持たせて、いかに地域ごとに盛り上がっていくかが問われる。実際、この10年間で会いに行けるアイドルが国民的アイドルに大化けした例がある。海外グループを作って、グローバル戦略に打って出ている。地方活性化と海外進出の2つのキーワードが今後のAKB48の明るい未来に繋がるのではないだろうか。

【AKB48のシングルCD売上枚数】	
RIVER	260,55
桜の葉	404,696
ポニーテールとシュシュ	740,291
ヘビーローテーション	880,761
Beginner	1,039,362
チャンスの順番	694,042
真夏のSounds good	1,822,220
ギンガムチェック	1,316,240
UZA	1,263,148
永遠プレッシャー	1,206,869
So long!	1,132,853

さよならクロール	1,955,162
恋するフォーチュンクッキー	1,528,852
ハート・エレキ	1,286,609
桜の木になろう	1,081,686
Everyday、カチューシャ	1,608,299
フライングゲット	1,625,849
風は吹いている	1,457,113
上からマリコ	1,304,903
GIVE ME FIVE!	1,436,519
鈴懸なんちゃら	1,084,455
前しか向かねえ	1,148,657
ラブドール・レトリバー	1,662,265

表1:AKB48 メディア露出後のシングル売上枚数

Everyday カチューシャで売上枚数初週初ミリオン突破し、毎年5月に発売されている夏シングルでは、総選挙のシリアルナンバーが封入しているためより売上枚数が増えている。購入意欲確率と購入枚数は増加可能であり、公演に足を運んでもらうような商品を買ってもらうことによって増加は可能といえる。また、顧客密着度アップによってファンや常連客を獲得し、ファンはアーティストに対する“忠誠度”が高くなり、製品への基本的な信頼度と顧客に密着した接客技術売上側と顧客と顧客同士におけるコミュニティシステムによって忠誠心を高めていくことが可能である。

AKB48は握手会、劇場公演で密着度を高めたり、コミュニケーションをとっている。劇場は忠誠度の高い顧客が集まるので、顧客同士のコミュニティシステムの形成にも繋がっている。CDはオマケ商法としてCDに生写真や全国握手券、選抜総選挙シリアルナンバー、CDを全種類買ったらいドルの物が貰える、劇場盤CDを買うと個別握手券、写メ券、生写真が付いてくるなど、本来の価値を壊した形でビジネス化している。生写真はランダムなので、応援しているメンバーの生写真やポスターなどをコンプリートしたい熱心なファンは、同じ商品をたくさん買う必要がある。また、ファンの人数×購入意欲確率×CD×購入枚数=売上高で、売上額を上げているといえる。

## (2) 巧みなサプライズ作戦と地方戦術

AKB48グループはファンとメンバーとの距離を大切にしている。そのため、大きなコンサート

やイベント、劇場公演等ファンとメンバーが同じタイミングで重大発表を知ることが頻繁にある。ファンの中でサプライズを予想することもあり、コンサートやイベント自体は楽しいものではあるが、「魔のコンサート」「魔のイベント」と呼ばれることも多々ある。だが、それはAKB48グループの醍醐味である。メンバーのチーム昇格発表、グループシャッフルの大組閣祭、ドラフト会議、オーディション開催、イベント開催等たくさんのサプライズが用意されており、ファンとメンバーが同じ気持ちを味わえる。

AKB48は会いにいけるアイドルであるが、その根幹を変えてAKB48に新しいチーム“Team8”を作った。“Team8”とは、48都道府県から48人を選出し、結成されたチームで会に行くアイドルである。AKB48は握手会やイベントで会に行けるアイドルであるが、チーム8は全都道府県を周るため近隣で会いやすく、休日に都道府県を回り、無料イベントを行っている。また47都道府県の良いところを紹介し発信する活動も行っている。

また、チームサプライズ楽曲をファン投票によって決める企画があり、デモ曲の選択、イントロ、リズム、歌詞、ダンス、ジャケット、衣装まで全てファン投票によって決められている。出来上がった曲は、希望的リフレイン劇場盤に収録されている「Reborn」である。メンバーはこれまで選抜経験がない、もしくは少ないメンバーで構成されている。楽曲を作るまでの過程を知ってもらう取組の一つだといえる。

### (3) グループ、ソロ、ユニットと多彩な活動

AKB48グループではメンバーが新たな夢に向けて卒業する。絶対的エースと呼ばれた前田敦子と大島優子は女優に、AKB48の川栄李奈、SKE48の松井玲奈も女優に、そしてAKBのソロ先駆けとなった板野友美は歌手に、篠田麻里子はタレントやモデル活動に転身している。AKBという看板が外れての活動になるので、AKBの時より露出が減ったメンバーが多々いるのは事実だ。またAKB在籍中にも前田敦子、板野友美、河西智美、在籍メンバーでも柏木由紀、指原莉乃、渡辺麻友、高橋みなみ、山本彩、渡辺美優紀、倉

持明日香、岩佐美咲、藤田奈那などがいる。ほとんどが人気メンバーのソロデビューだが、じゃんけん大会優勝や競馬で当てたり、ご褒美にソロデビューというようなケース、さらに岩佐美咲のように演歌など得意分野を生かしたソロデビューもある。グループでシングルを出すわけではないので、メンバーは売上がかなり気になる。

曲を出すすと全てミリオンセラーとなり、不況だったCD業界に新風を吹き込み、好景気をもたらした。政治世界における総選挙よりも話題になり有名になってしまった「選抜総選挙」、さらに2009年からは毎年、大晦日に放送されているNHK紅白歌合戦出場を果たしている。秋葉原から名古屋・栄、大阪・難波、福岡・博多、新潟、ジャカルタ、中国・上海、台湾（構想中）に姉妹グループを作り、地方にもアイドルを配置して遠出をせずに身近に会いやすいアイドルを作ることに成功した。毎週、様々な各地で行われるイベントでその土地のコンビニやホテルなどを盛り上げて活性化させている。イケメン力士にお姫様抱っこをしてもらい、その瞬間を写真で残す、所謂、写メ会に似たことも行われている。

また、ファンの中には通常盤などランダムで生写真が入っているタイプのCDを買い、お気に入りのメンバー（推しメン）が出るまで買い続ける人もいる。完全にCDに対する優先順位が真逆であり、発売後のリサイクルショップへの陳列、買い手や貰い手が見つからないため路上での不法投棄も見受けられるようになってしまった。

AKB48でのユニットは、メンバー3～5人で構成されており、歌やダンスをしてCDデビューをしている。以下がAKB48のユニットである。

11月26日、ユニット“ノースリーブス”（小嶋陽菜、高橋みなみ、峯岸みなみ）、翌年1月28日、ユニット“渡り廊下走り隊”（渡辺麻友、多田愛佳、仲川遥香、平嶋夏海）、5月18日、ユニット“DiVA”（秋元才加、梅田彩佳、宮澤佐江、増田有華）、6月30日、岩佐美咲、小森美果を加え“渡り廊下走り隊7”として活動をし、翌年、3月16日、ユニット“Not yet”（大島優子、北原里英、指原莉乃、横山由依）、9月8日、ユニット“フレンチキス”（柏木由紀、倉持明日香、高城亜樹）デビューした。

## 社会現象化した「AKB48」の戦略とその分析

ノースリーブス、渡り少女走り隊、Diva、Notyet、フレンチキスの派生ユニット5グループがデビューした。ノースリーブスはAKB48 1期生旧チームAのメンバーから構成されており、渡り廊下走り隊は当時、中高生のメンバーの中から学校の廊下でスカートをひらりとさせながら走りぬけるイメージのメンバーを選抜した。Divaは初ダンスヴォーカルユニット、フレンチキスは親に紹介したい3人組をコンセプトに活動し、またNot yetは歌もダンスもまだまだだけ成長できるという意味で命名された。

AKB48グループではほとんど毎日、専用劇場でチームごとに異なる演目の下、ダンスや歌など約2時間にわたるステージを披露している。劇場で（収容人数約250人程度）公演も行っている。現在の劇場券は大人男性3100円だが、当初は1000円で1年据え置きだった。写真集も一般的には3000円のところを1000円台である。低価格競争を撤廃し、同時に価格の差別化も導入した。イベント出演料の方が割高なので、自然と劇場公演が減るわけで、それを避けるには劇場の値段をあげるしかないが、今のブランド力を考えると5000円や1万円でもOKである。

AKB48ではソロデビューをし、卒業してグループの活動を事実上、辞退するメンバーもいる。以下がそのソロデビューと卒業に関する出来事である。

10月15日、大堀恵がソロデビューをし、番組『AKB0じ59ふん』で“発売から1ヶ月以内にノルマ10,000枚達成しなかったらAKB48強制卒業”企画があり、その結果10,125枚を売り上げ残留した。同日、板野友美がソロデビューを果たす。翌年2月27日、秋元才加がチームKのキャプテンに復帰した。6月22日、前田敦子がソロデビューし、2月29日、渡辺麻友もソロデビューした。5月2日、指原莉乃がソロデビューした。8月25日、高橋みなみがソロデビュー。12月26日、河西智美ソロデビュー。2月6日、柏木由紀がソロデビューを発表した。

主要メンバーが在籍中であるにも関わらずCDを出してソロデビューし、ソロシングルを発売したり音楽番組への出演を果たしたりしている。このように、グループでいては味わえないソロの世

界で生き抜く厳しさや難しさを、そのまま見せることによって売り出す戦略である。

### ・過去の卒業発表

- 2012 AKB48 前田敦子  
コンサート内で卒業発表
- 2013 AKB48 篠田麻里子  
選抜総選挙演説内で卒業発表  
AKB48 板野友美  
ドキュメンタリー映画内で卒業発表
- 2014 AKB48 大島優子  
2013NHK 紅白歌合戦で卒業発表  
AKB48 高橋みなみ  
AKB48 9周年記念公演にて卒業発表
- 2015 AKB48 川栄李奈  
春の単独コンサート内で卒業発表  
SKE48 松井玲奈  
AKB48 オールナイトニッポンで卒業発表
- 2016 NMB48 渡辺美優紀  
NMB48 劇場公演で卒業発表  
AKB48 小嶋陽菜  
選抜総選挙内で卒業発表  
AKB48 島崎遥香  
新CM記者会見にて卒業発表

### (4) 卓越したフルラインアップ戦術

AKB48グループには可愛い系、美人系、面白い系、不思議系など様々なメンバーがいる。それらのメンバーを集めさせ、多様性を生かしながら売っていくという戦術である。更に、姉妹グループは日本国内に4グループあり、海外に1グループある。

SKE48（名古屋 栄）、NMB48（大阪 難波）、HKT48（福岡 博多）、NGT48（新潟）は、国内で活動し、JKT48（ジャカルタ）は、国外で活動している姉妹グループである。

日本を拠点として活動しているグループと海外を拠点として活動しているグループとを比較してみると、AKB48のコンセプトである「会いに行けるアイドル」という点は共通しており、握手会や劇場公演なども日本で活動しているグループと同様である。しかし、劇場公演の演目や発売され

ているシングルなどの大半は、その国の言語に翻訳されたものであり、ダンスもアレンジを加えたものもあるが、基本的には同種である。また、総選挙は、日本と海外は別で行っており、じゃんけん大会は海外姉妹グループで予備選を行い、そこで勝ち抜いた1人が日本に来日し本選出場をする

ことができるようになっている。

また、AKB48には派生ユニットが多数作られている。フレンチキス、ノースリーブス、Notyet、Diva、てんとうむchu!、でんでんむchu!、むしかごなど派生ユニットを設置している。また、ソロシングルを出しているメンバーも



フレンチキス  
(倉持・柏木・高城)



ノースリーブス  
(小嶋・高橋・峯岸)



Notyet  
(大島・横山・北原・指原)



Diva  
(秋元・宮澤・梅田・増田)



てんとうむchu!  
(小嶋・岡田・西野・渋谷・北川・渋谷・朝長・田島)



でんでんむchu!  
(大和田・村山・谷口・向井地・川本・田中・矢吹)

図1：AKB48 派生ユニット一覧（AKBグループメンバーの中から構成されたグループ）



渡辺麻友



柏木由紀



高橋みなみ



指原莉乃



倉持明日香



山本彩



岩佐美咲



渡辺美優紀



藤田奈那

図2：AKB48 在籍時ソロデビューを果たしたメンバー一覧

## 社会現象化した「AKB48」の戦略とその分析

いる。

ソロは、渡辺麻友、柏木由紀、高橋みなみ、指原莉乃、倉持明日香、山本彩、岩佐美咲、渡辺美優紀、藤田奈那がソロデビューを果たしており、高橋みなみ、山本彩、岩佐美咲など将来ソロ歌手志望の実力を認められた。倉持明日香はじゃんけん大会の優勝でソロを手に入れ、渡辺美優紀、藤田奈那などは企画ものによってソロデビューを果たした。

彼女たちが歌う楽曲の歌詞は、基本的には総合プロデューサーの秋元康氏が書いており、作曲や編曲は別の人がしている。その一方で、山本彩の場合はシンガーソングライターを目指していることから自ら作詞作曲を行っている。その曲は王道アイドルソングと言われるポップなものからバラードやロックなど様々である。

AKB48グループでは毎年、様々な活動を行っている。以下がその主たる活動である。

8月22・23日、「AKB104 選抜メンバー組閣祭り」をAKB48初の日本武道館で開催し、AKB48の新内閣を発表。7月8日、第1回選抜総選挙「AKB48 13th シングル選抜総選挙『神様に誓ってガチです!』」開票した。12月31日、第58回NHK紅白歌合戦初出場を果たす。翌年7月7日、小学館週刊少年漫画誌『週刊少年サンデー』2010年32号連載漫画『脳脳遊戯クラブ』にて、AKB48所属メンバーが登場、初漫画化する。8月25日、講談社週刊少年漫画誌『週刊少年マガジン』2010年第39号にて、AKB48のコミカライズ(漫画化)作品『AKB49～恋愛禁止条例～』連載開始する。11月10日、『Beginner』がミリオンセラーを達成する。

11月11日、「世界一人数の多いポップグループ」としてギネスブックに認定される。同日、ドキュメント映画『DOCUMENTARY of AKB48 to be continued 10年後、少女たちは今の自分に何を思うのだろうか?』公開する。6月6日、「見逃した君たちへ」～AKB48グループ全公演～にて「チーム4」の結成を発表する。12月30日、第53回日本レコード大賞「フライングゲット」で初受賞する。3月23日、東京ドームにてコンサートを開催することを発表する。4月からAKB48が

モチーフのTVアニメ『AKB0048』が放送開始。メンバーは声優として参加する。2013年1月5日～、AKB48がモチーフのTVアニメ『AKB0048 next stage』(第2期)が放送開始する。4月3日、Team8結成(各都道府県から選ばれた47人の新メンバーから構成される)。(2014.6.9現在)

このようにAKB48は選抜総選挙、組閣祭り、新チーム結成などアイドルの予定調和を崩したイベントを開催することで、これまでとは違うアイドル像を確立した。そして人気が出ると、CDはミリオンセラーになり紅白歌合戦への出場も叶えることが出来たのである。

2009年1月18日、チーム研究生18名を発表し、解雇された菊地あやかがAKB48に復帰する。同日、5月25日発売のシングル『Everyday、カチューシャ』がオリコンチャート史上最高のシングル初週売り上げ枚数133.4万枚を記録する。6月14日、12.5期研究生から抜擢された江口愛実が非実在人物ではないかとの疑惑が本格化する。6月20日、江口愛実がCGで創作された架空の人物である事が公表される。7月7日、小学館週刊少年漫画誌『週刊少年サンデー』、2010年32号連載漫画『脳脳遊戯クラブ』にて、AKB48所属メンバーが登場、初漫画化する。

8月25日、講談社週刊少年漫画誌『週刊少年マガジン』2010年第39号にて、AKB48のコミカライズ(漫画化)作品『AKB49～恋愛禁止条例～』連載開始する。11月10日、『Beginner』がミリオンセラーを達成する。11月11日、「世界一人数の多いポップグループ」としてギネスブックに認定される。8月24日、初東京ドーム公演(～26日まで)。3日間で合計約14万4000人を動員し、同日、組閣(新体制)発表され、高橋みなみAKBグループ総監督、篠田麻里子チームAキャプテン就任し、多田愛佳がHKT48(福岡市)へ移籍し、高城亜樹と仲川遥香がJKT48(インドネシア・ジャカルタ)へ移籍し、鈴木まりやと宮澤佐江がSNH48(中国・上海)へ移籍することが確定する。

## 第2章 従来のアイドルと異なる魅力の開発

### (1) 予定調和的崩壊

AKB48 が従来のアイドルと違うところは、以下の5点である。

1 点目は握手会である。握手会の始まりは劇場公演が開始して約1週間後の2005年12月16日の劇場公演が機材故障のため休演になり、代わりに握手会を行ったのが最初である。個別握手会(劇場盤を事前抽選制で指名したメンバーとマンツーマンで約10秒会話することができる)と全国握手会(初回限定盤を買い、その場でレーン選択や複数メンバーとの握手が可能)がある。AKB48の柏木由紀やSKE48の須田亜香里など、握手会でファンの心を掴み人気になったメンバーもあり、AKB48グループ=握手会といっても過言ではない。個別握手会は衣装での参加ではなく、メンバー全員私服であるためアイドルというより1人の女の子として、より身近に感じやすい。現在の48グループの握手、写メ1番人気はNMB48(AKB48)の山本彩である。彼女の握手券や写メ券は、ズバ向けて1次完売するため落選も多く、入手困難である。

2 点目は、近距離で会うことが出来、帰りのハイタッチと肩たたきのサービス(現在はお見送り)である。AKB48グループでは劇場公演が原点で、その定員は250人。完全抽選制であるが、現在では高倍率である。これらは、劇場公演で終演した際に行ってくれるサービスの一環である。剥がしはないので一言二言会話をすることも可能である。劇場公演は、コンサートより観客との距離が近い(最前列は手を伸ばせば触れる位置)



図3：個別握手会でファンと触れ合う山本彩

より親密に感じられる。通常の公演以外にもメンバーの生誕祭や卒業公演、モバイル有料会員限定の新成人歓迎や遠方枠歓迎、シニア限定のカップル・ご家族歓迎、お誕生日のお客様歓迎や女性限定公演なども開催されており、基本的にそれらの公演の要件を満たすオタクが優遇される。価格は男性3080円、女性2080円、幼児無料であり、研究生公演は男性2080円、女性1080円である。時折、姉妹グループの出張公演も開催されている。

3 点目はメールサービスの導入である。月額(1メンバー)324円でお気に入りのメンバーが作った文面が自分の携帯にメールとして届くシステムだ。メンバーのプライベートやそこでしか手に入らない写真や絵文字もあり、あらかじめ登録したあだなが付けて送られて来ることもある。モバイルメールやプライベートメールなど、メンバーがあらかじめ登録しておいた名前やあだなで呼びかけてくれたりもする。また、そのメールに返信をすることも可能である。

4 点目は google + ・755 ・Twitter ・Instagram など各種 SNS 普及による導入で、すべてのファンがメンバーと触れ合えることである。メンバーが直接、返信を返してくれたり、コメントのチェックをしてくれて、握手会での話のネタになることもある。ごく稀に出演番組や握手会などの宣伝に活用しているメンバーもいる。なかなか会いに行けなくても SNS で認知をもらうことも可能である。

5 点目は写真会とサイン会である。劇場盤 CD を買うと、アイドルと2ショットで写真を撮られたりサインが貰えたりするイベントだ。写真会はアルバム(NMB48はシングル)、サイン会はシン

### NMB48 Mailの特徴

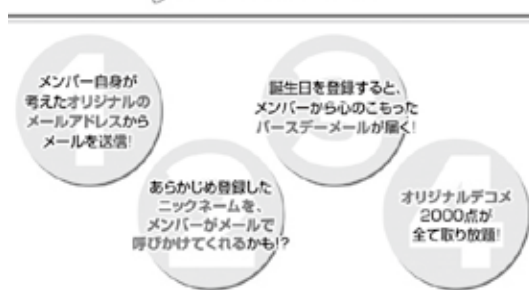


図4：NMB48Mailの概要

## 社会現象化した「AKB48」の戦略とその分析

グル購入者限定で抽選が行われており、選抜など人気メンバー（各部20名）、後のメンバー（各部100名）でたびたび行われている。写真やサインはファンやオタクの宝物になる。従来のアイドルは、基本コンサートでしか見られず遠い存在であったが、AKB48は握手会以外でもSNSで常に情報を発信していたり、アイドルに対する多様なニーズに応え、一人一人のファンとの関係を深く保つことで、より身近に感じることができファンと密な関係を構築しやすいたことが魅力的になっている。

## (2) ロングテールとじゃんけん戦略

従来であれば、売上頻度が少ないことで軽視されていたロングテール領域の商品を、あえて充実させることにより全体の売上の向上を図るという戦略もある。あまり売れない商品がインターネットで欠かせない収益源になるのである。アイドルオタクは認知（名前、顔を覚えてもらうこと）を目的としており、アイドルの成長過程に沿って接触することによって生きがいを感じる。この場合、メディア露出が少ないメンバーにファンが取りつきやすい傾向にある。このロングテール戦略を充実させた結果、幅広いファン層を獲得してミリオンセラーなど驚異的な枚数のCD売り上げを達成した。

このロングテールが長ければ長いほど人気はダイレクトに収益につながるわけで、それに関わる過去の前例を以下に3点挙げる。

1つ目は、架空AKB48である。グリコ“アイスの実”のCMで主要メンバーを押しつけセンターになった、謎の美少女 江口愛実を作成した。全て顔のパーツはメンバーの顔を一つずつ取って構成されており、CGアイドルであった。コンサートでは、メンバーの佐々木優佳里が特殊メイクでなりきり反響を呼び話題となった。

2つ目は大人AKBである。グリコ“パピコ”の企画で一般人女性から期間限定（4か月）でAKBのメンバーになれるという企画で都内の主婦、塚本まり子さん（38）が選ばれ、握手会や劇場公演（Team4在籍）ライブ出演を行った。塚本さんはセンター曲“教えてMommey”もある。

3つ目はバイトAKB48である。AKB48はア

ルバイト求人誌タイトルと連携し、時給1000円でAKBのメンバー同様、握手会コンサート出演が可能である。人材発見の場でもあり得るため、バイトから正規メンバー採用もある。

AKB48は毎冬、シングルを作るためにじゃんけん大会を行う。対象は全メンバーであり、普段はメディア露出が少ないメンバーも優勝するとセンターがもらえる。しかし、AKB48メンバー以外（SKE48、NMB48、HKT48、NGT48、JKT48）は各劇場で予備選があり、勝ち抜かないと本選へ出場できない。総選挙では、メンバーがそれぞれコスプレをして登場する等、勝ち負けだけではなく、コスプレも見ものである。

・（過去の優勝者とシングル名）

第1回 内田真由美

（AKB48 TeamK）「チャンスの順番」

第2回 篠田麻里子

（卒業）「上からマリコ」

第3回 島崎遥香

（AKB48 TeamA）「永遠プレッシャー」

第4回 松井珠理奈

（SKE48 TeamS / AKB48 TeamK）「鈴懸の木の道で「君の微笑みを夢に見る」と言ってしまったら僕たちの関係はどう変わってしまうのか、僕なりに何日か考えた上での やや気恥ずかしい結論のようなもの」

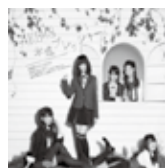
第5回 渡辺美優紀



第1回



第2回



第3回



第4回



第5回



第6回

図5：AKB48 じゃんけん大会の第1回から6回のシングルCDジャケット



(NMB48 TeamBII SKE48 TeamS)「やさしくするよりキスをして」

第6回 藤田奈那

(AKB48 TeamK)「右足エビダンス」

### (3) 総選挙戦術

AKB48グループは2009年から毎年8月に発売されるシングルを作るため、2009年から毎年6月に「選抜総選挙」を行っている。応募方法は夏シングルに封入されている選抜総選挙シリアルナンバーを読み取り、二本柱の会（AKB48ファンクラブサイト）各48グループモバイルサイト、DMM会員サイト（各48グループの劇場公演が見れるサイト）で応募が出来る。選挙前にメンバーそれぞれが選挙ポスターを作って各劇場に張り出し、政見放送を行う（政見放送はYou-tubeなど動画サイトで閲覧可能）。ポスターや放送内容はメンバー自身が考えたもので、毎年バラエティに富んだものになっている。

選抜常連メンバーはAKB48在籍時代、不動のエースだったが、卒業後の現在は女優として活躍中のあっちゃんこと前田敦子や、前田敦子との座を争うぐらいの人気があり、子役経験者で現在は女優として活躍中のゆうこと大島優子。おしゃれ番長であり、茶髪が唯一認められていたメンバーで、現在は歌手として活動中のともちんこと板野友美たち。

また、モデルのようなルックスを持つまりこ様こと篠田麻里子、二次元から来たような王道アイドルまゆゆこと渡辺麻友、総監督を務めスピーチの達人と言われているたかみなこと高橋みなみ、女性から圧倒的支持を受けるこじはること小嶋陽菜。

さらに、握手会でファンの心を掴んだゆきりんこと柏木由紀、京美人であり、次期総監督に任命されたゆいはんこと横山由依、SKE48絶対的エースである松井珠理奈。松井珠理奈と並ぶ絶対的エースでライバルグループ乃木坂46兼任経験があり、現在は女優として活躍中のれなこと松井玲奈、世界でなりたい顔50位に選出されたばるること島崎遥香、握手1次完売48グループ1位でギターが弾けるポケとツッコミの天才であるさやかこと山本彩。釣り師でかつ小悪魔でツンデレ

なところを兼ね備えるみるきこと渡辺美優紀、HKTの支配人も兼任し、もともとアイドルオタクなのでファン目線でコンサートの運営もできるHKTのお姉さんの存在であるさっしこと指原莉乃、HKT48絶対的エース、子役経験者であり、愛らしいルックスを持つさくらたんこと宮脇咲良たちがいる。

・（過去6年間の選抜総選挙メディア選抜とシングル名）

・＜1回目（2009年）「言い訳 Maybe」＞

1位 前田敦子、2位 大島優子、3位 篠田麻里子、4位 渡辺麻友、5位 高橋みなみ、6位 小嶋陽菜、7位 板野友美、8位 佐藤亜美菜、9位 柏木由紀、10位 河西智美



前田敦子

大島優子

篠田麻里子

図6：第1回AKB48選抜総選挙でトップ3を獲得した、メンバー

初めての選抜総選挙は、前田敦子が1位4630票を獲得し、子役出身の大島優子が2位で、3345票、3位の篠田麻里子が2852票、5位の高橋みなみが2614票、7位の板野友美が2281票を獲得している。その頃はAKBがメジャーではなかったため、どこにでもいそうな目立たない子でも、磨けば光りそうな一際目立つ存在の前田敦子にオタクが集中した。

・＜2回目（2010年）「ヘビーローテーション」＞

大島優子が速報から逆転で1位に輝く。初姉妹グループ（SKE48）の絶対的エースW松井（松井珠理奈、松井玲奈）宮澤佐江 初選抜入りし、板野友美が7位～4位になる。そのころ、おしゃれ番長や八重歯が流行し、女子中高生から圧倒的な支持を得たため、人気が上がったのではないかと。渡辺麻友、高橋みなみ、小嶋陽菜が去年より1つ

## 社会現象化した「AKB48」の戦略とその分析

ランクを落とし、秋元才加、小野恵令奈が選抜落ちした。全体的に票数が伸び、AKB48がお茶の間に浸透してきたと言える。秋元才加、小野恵令奈も選抜落ちした。

1位 大島優子、2位 前田敦子、3位 篠田麻里子、4位 板野友美、5位 渡辺麻友、6位 高橋みなみ、7位 小嶋陽菜、8位 柏木由紀、9位 宮澤佐江、10位 松井珠理奈、11位 (松井玲奈)

・<3回目(2011年)「フライングゲット」>

前田敦子が返り咲く。このころから速報からの逆転勝ちが濃厚になり、前田敦子と大島優子の競争が激化をメディアが遊び始める。柏木由紀、指原莉乃の躍進と小嶋陽菜と高橋みなみの順位逆転。板野友美の“神7”漏れが話題となった。

1位 前田敦子、2位 大島優子、3位 柏木由紀、4位 篠田麻里子、5位 渡辺麻友、6位 小嶋陽菜、7位 高橋みなみ、8位 板野友美。

第4回目「ギンガムチェック」を発売する。前田敦子は卒業のため不出馬となり、大島優子が返り咲きを果たす結果となる。次世代エース渡辺麻友、松井珠理奈が躍進し、小嶋陽菜、高橋みなみの二度目の順位入れ替えが行われる。選抜メンバーの枠が12人から16人になる。

また、第5回目「恋するフォーチュンクッキー」を発売する。指原莉乃は総選挙前、スキャンダルの制裁を受けるためHKT移籍をしたが、速報、本選ともに1位の快進撃を果たす。小嶋陽菜、高橋みなみの3度目の順位入れ替えが行われており、板野友美は卒業のため最後の総選挙だったが、8位から11位に順位を落とす結果になった。発売された「恋するフォーチュンクッキー」は、ダンスが踊りやすいため有名になり、全世界で社会現象になった。

続いて、第6回目(2014年)「心のプラカード」大島優子は卒業のため不出馬となる。AKB48次世代エース渡辺麻友が悲願の1位に輝くが、指原莉乃は2連覇を果たすことはできなかった。小嶋陽菜、高橋みなみの4回目の順位入れ替えが行わ

れる。松井玲奈、松井珠理奈、山本彩、島崎遥香が躍進する。

・<第7回目(2015年)“Halloween Night”>

1位 指原莉乃、2位 柏木由紀、3位 渡辺麻友、4位 高橋みなみ、5位 松井珠理奈、6位 山本彩、7位 宮脇咲良、8位 宮澤佐江、9位 島崎遥香、10位 横山由依



指原莉乃

柏木由紀

渡辺麻友

図7：AKB48 第7回選抜総選挙でトップ3入りしたメンバー

指原莉乃が返り咲きを果たす。宮脇咲良、横山由依が躍進し、松井珠理奈、渡辺麻友、島崎遥香、須田亜香里がランク落ちをする。高橋みなみが卒業のため、推しのオタクが奮発した結果、自己最高順位4位を獲得した。NMB48の山本彩は前回と順位変動なしの結果に終わった。上位3名(指原、渡辺、柏木)は、ファンの年齢層が高く、中国人のファンが多く大量投票されている説があり、総選挙など投票系のイベントは強い。

・<第8回目(2016年)「LOVE TRIP」>

1位 指原莉乃、2位 渡辺麻友、3位 松井珠理奈、4位 山本彩、5位 柏木由紀、6位 宮脇咲良、7位 須田亜香里、8位 島崎遥香、9位 児玉遥、10位 武藤十夢、16位 (にゃんにゃん仮面：小嶋陽菜)

※また上位7位までのメンバーのことを、「神7」と言われる風潮がある。

指原莉乃が総選挙史上初2連覇達成する。松井珠理奈、山本彩、宮脇咲良、島崎遥香がランクアップを果たすが、柏木由紀、横山由依、にゃんにゃん仮面(小嶋陽菜)がランク落ちし、高橋みなみ、宮澤佐江は卒業のため不出馬であった。児玉遥、武藤十夢は初トップ10入り、SKE48須田亜香里

が2年ぶりの選抜復帰を果たす。

これまでの総選挙の結果を見ると、SKE48やHKT48の勢いが大きくNMB48は弱い、ファン層や地方の民族性にも原因があると考えられる。

### 第3章 新機軸ゆえの様々な課題

#### (1) スキャンダル

「スキャンダル」とは、AKBの恋愛禁止の掟(ルール)を破り、異性と恋愛関係を持つことである。以下がこれまで発覚したスキャンダルの事例である。

7月下旬、チームBのメンバー菊地彩香の恋人とのツーショットプリクラ流出騒動が起きる。7月21日、大島優子が噂になっていたウエンツ瑛士との交際をブログで否定する。7月25日、研究生の西川七海がプリクラ流出が原因で解雇される。6月22日、研究生の石黒貴己がセレクション審査落ちし、プリクラ写真流出などで脱退する。

翌年2月10日、週刊誌「週刊文春」がAKS社長・窪田とAKBメンバーの不適切な関係を報じる。8月16日、森杏奈、同級生のmixiから彼氏が発覚し、同日、大場美奈、高校の友達プロフから彼氏・飲酒発覚、仁藤萌乃に彼氏疑惑が発生するが文字表記が“萌乃”なので疑惑止まりになる。8月19日、松井咲子、前略プロフから高校時代の彼氏との2ショットプリクラ流出し、同日、永尾まりやも前略プロフからプリクラ流出し、また同日、大場美奈が過去のブログの内容により謹慎を発表し、チーム4のキャプテンを辞任する。

翌年3月28日、「週刊文春」で板野友美がTAKAHIRO (EXILE)と熱愛を報道される。6月17日、「週刊文春」の元カレ暴露記事で、指原莉乃がHKT48に移籍が発表される。翌年2月6日、「週刊文春」が柏木由紀・峯岸みなみがJリーガーと合コンしていたと写真付で記事にする。

加入する際、恋愛禁止の契約に同意することが条件の1つとなっているが、AKB加入前か加入後か分からないような男性とのプリクラ、写真などが流失している。また、相手も家族や幼馴染ということもあり線引きは難しい。また、流失しても人気があるため。見過ごされたりするケースもあり、人気を与える影響力の強さを伺わせる。こ

れらの事実はすべてSNSの普及で表立って浮彫になっていると考える。

#### (2) 脱退、辞任、処分

脱退、辞任、処分とは、AKB48グループでのルールを破ったために課せられる制裁である。以下は過去に課せられた脱退、辞任、処分の例である。

8月15日、騒動により休演状態となっていた菊池彩香を契約解除する。10月15日、広井王子との不倫スキャンダルの責任を取る形で、秋元才加がチームKのキャプテンを辞任する。9月2日、森杏奈が持病の腰痛などを理由にAKB48を辞退した。2012年1月28日、写真流出騒動で、米沢瑠美、平嶋夏海がAKB48・渡り廊下走り隊を脱退した。

翌年11月28日、増田有華が自身ブログ内でISSA (DA PUMP) とのお泊りを認め、AKB48辞退を報告した。1月31日、「週刊文春」のお泊り暴露記事で、峯岸みなみが丸坊主頭で謝罪動画を配信し、2月1日、AKB48研究生に降格処分に課せられた。2007年2月28日、「戸賀崎が逮捕された」と騒動になる。翌年の2008年2月28日、シングル「桜の花びらたち2008」劇場販売分において、44種類のポスターをランダム封入特典とし、コンプすれば特別イベント参加権を得られるといった企画があったが、レコード会社内法務担当の指摘で中止される。

2011年1月22日、AX3日目にAKB関係者がナンパ行為、及びチケットの譲渡を行っていた事が判明し非難を浴び、同日、舞台『音楽劇 千本桜』キャストを発表する。石田晴香が初音未来役に抜擢されるが、一部ネット上で「アニメの真似だ」など波紋を呼ぶ。

2014年5月25日、岩手の握手会でメンバーの川栄李奈と入山杏奈、男性スタッフがノコギリを持った男に襲われ怪我をする。男は殺人未遂の容疑で現行犯逮捕される。CDの販売方法や内部の者が違反行為、握手会中にスタッフとメンバーが襲われ怪我をする。AKB48としてのルールを守らない者は、事実相当の処分を下すことになっている。軽いものであれば、劇場公演での序列を下げられるが、主に責任をとってグループ脱退など解雇(表向きは卒業)、キャプテンなどの重役辞任や解雇となる。だが、スキャンダル同様、人気

## 社会現象化した「AKB48」の戦略とその分析

メンバーは処分内容が比較的軽く、人気が与える世間の影響力が見てとれる。人気メンバー、不人気メンバーに限らず、AKB48 や芸能界という特殊な世界に入った以上、組織の一員として恥ずかしくない行動やプロ意識を持つことも大切と考える。

### おわりに

1 タレントがスターになって行くには、ファンには見えないところでのレッスンや準備期間が必要だ。そして従来のアイドルは、そんなところを見せることはまずなかった。ところがAKBは見せることにした。そのような試みに、“お客様たち”は「親戚の子が訳の分からないアイドルグループに入ったんだよね」という感覚から見始めたんだと思う。その親戚っぽいメンバーが、少しずつ有名になって行けば思わず応援したくなってくるのである。

AKB48 は 24 時間、365 日をエンターテインメント化し、身近な人の成長過程を見守る感覚でスターになって行く様子を目撃する一種のドキュメンタリーでもある。普通の芸能人は見せるところと見せない部分があり、「点」の存在だった。それがAKB48 は「線」になったのである。

ファンは忙しい時は会えないこともあるが、テレビを見て「しばらく見ない間に成長したな」と思える。それは、彼女たちの日常がイベントになったからである。予定調和を崩壊し、真剣勝負でファンや一般人の心を刺したとも言える。辛い結果になっても曝け出すことで、みんなで苦しむことが大事ということを譲らなかった。送り手ではあるが受け手の 1 人としても感動できる部分がないと伝わらないドギマギ感があるため、結果はすべてリアルタイムで視聴することが出来る。

スカウトマンの才能はないが、ヒントがあれば色を付けていくことも可能であり、大人の事情を排除する挑戦に挑み続け、結果として常識破り型破りなアイドルグループになったことが 10 年続いてきた最大の理由だと思う。

AKB48 の疑問としては、順位決め(選抜総選挙・じゃんけん大会)は本当に重要なのかという点がある。メンバー間での競争心を煽り、よりやる気

を出させるために、毎年メンバーの 1 年間の頑張りを評価される場として開催されているが、それならなぜ、1 人 1 票制にしないのか。1 人 1 票制にすると、毎年順位が変わらない、そのため何回もやらなくてもよくなる、あるいはやっても飽きられる可能性が大であるからではないのか。つまり、そのようになると開催ごとに売り上げる CD の枚数が維持できないとも思われる。

アイドルオタクは、清純であり特に処女を好む傾向にあるということと、恋愛をすることでファンの人が悲しむ可能性や人気が下降することを恐れて禁止しているのだと感じた。しかし、アイドル以前に彼女たちは 1 人の女性である。アイドルはあくまでお仕事であるため、プライベートまで縛る必要はないし、個人の自由を尊重すべきだと思う。女性は恋をすることで綺麗になれると思う。

しかし、アイドルを本気でやろうとするなら、プライバシーを捨てる本気の覚悟を持たないとだめなのかもしれないと思う。過去に、指原莉乃のスカンダル写真流出による HKT48 完全移籍や、峯岸みなみの動画を使っただけの丸刈り号泣謝罪、または、解雇されるメンバーも過去にはいるのだが、法律に触れることを犯したわけではなく、やり過ぎではないかという声があるのも事実である。

### 引用

- (1) <http://www.littleoslo.com/lyj/home/akb48-鈴懸の木-史上最高76文字-歌詞-pv-lyrics/>
- (2) <http://karuwazaonline.jp/pc/00000003/goods2/10109904720/jsessionid=9CAF7B1D9F031B5258C9BB0AA944D3E90.WEB2>
- (3) <http://www.oshidesu.com/akb48-永遠プレッシャー-type-a-b-c/>
- (4) <http://www.oricon.co.jp/news/2003514/full/>
- (5) <http://www.nmb48.com/privatemail/>
- (6) [http://stage48.net/wiki/index.php/File:NMB48\\_Group\\_Shot.jpg](http://stage48.net/wiki/index.php/File:NMB48_Group_Shot.jpg)
- (7) <http://akb48taimuzu.livedoor.biz/archives/36126697.html>
- (8) <http://ciricara.com/wp-content/uploads/2012/08/14/jkt48.jpg>

- (9) [http://img4.17dm.com/img/pic/121017/12104\\_154520\\_1.jpg](http://img4.17dm.com/img/pic/121017/12104_154520_1.jpg)
- (10) <http://plaza.rakuten.co.jp/ruzerukabu/diary/201211010003/>
- (11) <http://blog.akb48teamogi.jp/takahashiminami/>
- (12) [http://karuwaonline.jp/pc/goodsImageFileView.do?\\_\\_SHOP\\_NO=00000003&display\\_code=195525&goods\\_sku\\_code=00035373](http://karuwaonline.jp/pc/goodsImageFileView.do?__SHOP_NO=00000003&display_code=195525&goods_sku_code=00035373)
- (13) [http://48love.wordpress.com/2012/01/12/iwasa-misaki\\_mujin-eki\\_jacket/](http://48love.wordpress.com/2012/01/12/iwasa-misaki_mujin-eki_jacket/)
- (14) <http://image.search.yahoo.co.jp/search?p=%E6%8F%A1%E6%89%8B%E5%88%B8&aq=-1&oq=&ei=UTF-8#mode%3Ddetail%26index%3D66%26st%3D2295>